

## 27. 経済研究所

( 分析項目Ⅰ 研究活動の状況 ..... 75 )

( 分析項目Ⅱ 研究成果の状況 ..... 76 )

## 分析項目Ⅰ 研究活動の状況

### 〔判定〕 高い質にある

#### 〔判断理由〕

研究活動の基本的な質を実現している。

公募研究プロジェクトをベースにした国際コンファレンスを開催するとともに、拠点研究プロジェクトとの連携強化などの取組を実施している。また、因果推論に用いることが可能な文理融合型のデータベースを用いて、文理融合の研究活動を進めているほか、共同利用・共同研究拠点として、4つの国際学術誌の編集・出版事務を行い、国際的な研究成果発信の場を提供している。

#### 〔優れた点〕

- 平成28年度から平成30年度に、公募研究プロジェクトが42件採択され、プロジェクトをベースにした国際コンファレンスが22回開催された。平成30年採択15件のプロジェクトのうち5件は海外研究者の短期滞在型共同研究であった。

#### 〔特色ある点〕

- 多くの拠点研究プロジェクトと連携し、ミクロ経済学・ゲーム理論、契約理論、マクロ経済学・経済システム、計量経済学セミナー、比較経済等の各種研究会を実施しており、平成28年度から平成30年度に合計301件開催している。
- 滋賀県長浜市の協力を得てゲノムデータと連動した社会科学データの実験的な構築事業を行っている（サンプル数約9,000）。平成28年度、平成30年度にほぼ同じ対象について調査を行い、パネルデータ化して因果推論に用いることが可能な文理融合型のデータベースとした。これを用いて、エビデンスベース・ポリシーを推進し、健康医療制度、社会保障制度、財政再建、イノベーションの推進など我が国の喫緊の課題を解明することを目指す、他に類を見ない独自の文理融合の研究活動に取り組んでいる。
- 共同利用・共同研究拠点として、海外研究者を経済研究所に招き、国際共同研究活動を行っている。また4つの国際学術誌の編集・出版事務を行い、国際的な研究成果発信の場を提供する。

## 分析項目Ⅱ 研究成果の状況

**〔判定〕 特筆すべき高い質にある**

### **〔判断理由〕**

学術的に卓越している研究業績が、4件との評価を受けており、現況分析単位の目的・規模等を勘案し、特筆すべき高い質にあると判断した。

「進化ゲーム理論による慣習や伝統の形成に関する研究」の成果は、ゲーム理論分野の国際学術誌である Games and Economic Behavior などに掲載されている。進化ゲーム理論を用いて、他人と意図を共有しながら共同活動を行う際に自身の行動を調整するという人間特有の能力や、社会に存在する規範や慣習がどのように生成されるのかを明らかにしている。